

平成30年1月30日

## もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	雲南保健所	氏名	竹下 正宏
派遣先 団体名	NPO法人 たすけあい平田		

### ① 研修の日時

6月29日(木) 10:00~12:00

研修内容 打ち合わせ

7月25日(火) 8:30~17:00

デイサービスセンターさわやか

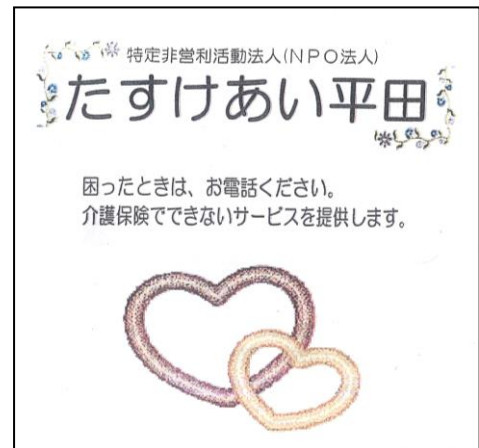
9月 3日(日) 8:00~16:00

ひらた福祉フェスティバル

9月22日(金) 8:30~17:00

通所介護予防ひびき

& 福祉移送サービス



### ② 研修の内容

#### ○ NPO法人たすけあい平田の概要

- もともとは「たすけあい」(有償の生活支援サービス)からはじまった。(20数年前)  
今では、介護保険事業も含めて10を超える事業を実施。『ないサービスは作る』
- 移送サービスは、国交省の認定講習を受ける必要がある。東京や大阪まで講習を受けに行ったが、負担が大きかったため、認定講習機関に自らなった。山陰初。
- 活動範囲は、ベースは平田・斐川エリアだが、ニーズがあれば松江や大社まで対応している。
- スタッフは、21名の職員と36名の協力会員。協力会員もほとんどヘルパーの有資格者。

**NPO法人 たすけあい平田の事業**

- 1 たすけあい制度(「困ったときはお互いさま」の市民による助け合いの有償の生活支援サービス)
- 2 居宅介護支援(ケアプラン作成、介護に関する手続き、介護相談)
- 3 訪問介護(介護保険のホームヘルプサービス)
- 4 介護予防訪問介護
- 5 居宅介護(障害者へのホームヘルプサービス)
- 6 福祉移送サービス(介護タクシー、たすけあい移送)
- 7 指定特定相談支援事業所
- 8 国土交通省認定講習
- 9 各種研修
- 10 介護・生活支援相談 12. デイサービス さわやか・ひびき
- 11 経費立ち上げ相談

**協力会員・まごころ会員を募集しています!!**

あなたを必要としている人がいます。  
社会とつながって楽しいこと…  
空いた時間で活動してみませんか?!  
あなたをお待ちしています!!  
♡お電話ください♡

#### ○ 7月25日(火) デイサービスセンターさわやか

地域密着型通所介護(※) 月~土曜日(年末年始のみ休み) 9:10~16:20

サービス内容は、送迎、健康チェック、昼食、入浴、個別機能訓練、生活相談等  
毎日13~17名程度の利用。

※ 地域密着型通所介護・・・定員18名以下の通所介護(デイサービス)は、市町村が指定権限を持つ地域密着型通所介護

AM 朝礼 本日利用者の状況、申し送り事項等の確認  
スタッフが社用車にて利用者の迎えに出発  
利用者が順次到着。お茶出し（朝は煎茶 こだわり）健康チェック。  
入浴 特殊浴槽と一般浴槽があり、順番に入浴。

昼食 食事前の口腔体操として、歌をうたう。  
ごはん、汁、おかず4品  
一人ずつ刻み方やご飯の炊き方を変えている。  
利用者は一食600円。残した量は記録。



PM 食事が終わった利用者から、歯磨き、午睡。  
午睡中に、利用者ごとの記録作成と休憩。定期的に、睡眠の状況確認。  
起床後、午後のお茶。的入れのゲームをし、歌を3曲。  
夕方、自宅まで、社用車にて送り。

### 【感想】

高齢の利用者にあわせて、ゆったりとした時間配分だが、徹底した健康や安全管理が必要だった。介護度は様々で、個々の事情に応じた配慮をされている。デイサービスが社会との唯一のつながりの場であったり、入浴できる場である人も多いとのこと。

入浴介助は、重労働だと感じた。昼食までの限られた時間に交代で入浴をする。ここでしか入浴されない方もいるとのこと。利用者の清潔維持のため重要な場。

昼食は、管理栄養士が作る一週間分の献立に基づいて施設内調理にこだわられている。敷地内の畑でできた野菜も活用。品数、食材は充実していて、なにより、おいしかった。

スタッフの献身的な尽力を感じた。利用者の笑顔が印象的でした。

○ 9月3日（日） ひらた福祉フェスティバル  
平田地域福祉のまちづくり協議会（事務局：出雲社協平田支所）が主催。合併前から毎年開催。

ホールやブースで、平田地域の福祉施設・福祉団体・ボランティア団体等の活動紹介や活動体験（医療センター医療チームによるバンドや車いすレクダンス、お楽しみ抽選会など）のほか、団体・事業所による模擬店、各種検診、日赤の献血献眼登録などブースが並ぶ。

たすけあい平田は、毎年模擬店で参加。スタッフが持ち寄ったバザーと事務所で調理する塩気飯・うなぎ飯とジュースの販売によりイベントを盛り上げている。



竹下は、連絡係として、事務所・会場間の搬送等を担当した。

たすけあい平田のご飯は、毎年大人気で、今回もうなぎ飯150食、塩気飯300食が完売したとのこと。）

福祉や介護の事業は利用者になってはじめて知るといふ住民が多いと思う。シンポジウム

やフォーラムとあわせて、こうしたイベントで啓発、相互理解を深めることは非常に有用だと感じた。

#### ○ 9月22日（金）AM 介護予防教室ひびき

- ・ 総合事業の A 型（緩和型）通所介護として、4月からスタート。
- ・ 毎週金曜日の午前中（9：30～11：30）にたすけあい平田2階で開催。
- ・ 血圧測定 ～ 介護予防体操 ～ 自由活動 が主な内容。
- ・ 毎回10名程度が参加されている。
- ・ 本日のスタッフは、4名、職員1名とボランティア3名（元市立病院看護師、元市立病院PT（体操の先生）、元音楽教師（歌の先生））
- ・ 本日の参加者は6名 男一人、女5人。急な欠席があり、いつもより少人数。最高齢は92歳女性。
- ・ 前半 体操 先生は、市立病院OBのPTさん。指の動かしや、座って体をほぐしたり、足の体操（ゴキブリ体操・自転車こぎ）終始、PTさんのトークで笑いを取りながら進められていた。参加者を乗せる話術のスキルも大事だと思った。
- ・ 後半 合唱 講師は、元音楽教師さん。童謡や上を向いて歩こうなど講師のキーボードにのって歌う。途中からカスタネットをつかって、リズムもとった。



#### ・ 参加者の声

「人と話をすることは大事。自分のため。知り合いにも勧めているがなかなか出てくれない。動けるうちは参加したい。」

「毎週、楽しみにしています。この時間は他の用事は入れない。」

#### ○ 9月22日（金）PM 福祉移送サービス

- ・ 熊谷理事長から事業説明を受けたのち、実車の見学
- ・ 資料②たすけあい平田の輸送マニュアルの説明。安全対策は特に厳格にしている。
- ・ たすけあい平田は、有償運送の認定講習も実施。1日コース。



### ③ 研修の感想

私は、平成29年4月から雲南保健所で高齢者福祉担当（地域包括ケアシステムスタッフ）として勤務しています。研修会で、熊谷理事長からたすけあい平田の活動の講演を聞いたことをきっかけに、介護サービスの現場を知るとともに、住民の自主的な生活支援活動を学ぶため研修に参加しました。

現場はスタッフの皆さんの献身的な努力で支えられていることを強く実感しました。また、明るく楽しそうに働いておられることが印象的でした。

「たすけあい活動」（有償ボランティアによる生活支援サービス）は、期間中に体験することができず残念でしたが、熊谷理事長より活動の概要について伺いました。

地域の高齢者を支えるために必要なサービスであることはもとより、ボランティアをする側にとっても社会参加・交流の場になっていることを感じました。

「ないサービスはつくる」という発想のもと、地域の課題に応じた取り組みをされておられ、地域包括ケアシステムの目指す理念を実現されていると感じました。一方、サービスに伴うマネジメントやスタッフ確保で苦慮されている様子もたくさん伺うことができました。

今後の業務を進める上で、大変参考になると思います。

本当にありがとうございました。

### ④ その他特記事項

研修として参加するために、利用者の方の理解が必要な事業もあります。

たすけあい平田の活動は、今後の福祉や地域づくりの施策を考える上で、とても重要な取り組みです。私は、業務に携わっている関係もあり本研修に参加しましたが、業務に関係がなくとも、行政職員としてとても勉強になると思います。

(注1)研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2)報告書は、平成30年1月31日までに人事課あてにメールで提出してください。